

KBMA 京都ビルメンニュース

April 2024
Vol.105



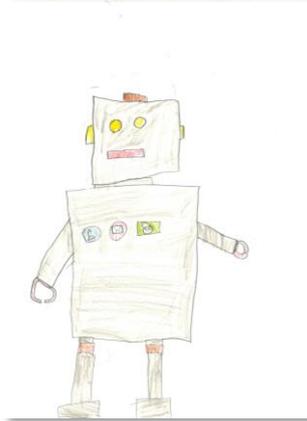
発行：公益社団法人京都ビルメンテナンス協会 〒612-8419 京都市伏見区竹田北三ツ杭町 45 番地 アイビー・ビル 2A
TEL 075-606-1258 FAX 075-606-1259 ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>
編集：広報委員会 委員長 山下耕平 2024年4月発行

【幼児の部】



「かにさんがゴミをあつめてる」
齊藤史帆（4才） ㈱浄美社

【1、2年生の部】



「おそうじロボット」
田中総司（1年） ㈱浄美社

【3、4年生の部】



「どうぶつ学校のそうじ」
渡邊一花（3年）
双葉メンテナンス工業㈱

【5、6年生の部】



「科学と自然の力でゴミ0の未来
～行け！バイオの森～」
笹川初葵（6年） 和光建物総合管理㈱

第17回 こども絵画コンクール 京都協会賞 銅賞 作品のご紹介

Information（4月から6月の予定）

【公益事業委員会】

- 清掃作業従事者研修指導者講習会
6月26日 京都協会講習会場

【広報委員会】

- KBMAニュース Vol.105（春号）
4月発行

【経営開発委員会】

- 委員会
4月16日

【周年事業実行委員会】

- 京都ビルメンテナンス協会
創立60周年記念事業
2024年5月24日

【総務厚生委員会】

- 令和6年度 通常総会
5月16日 京都協会講習会場
- KBMA チャリティゴルフコンペ
6月13日 瑞穂ゴルフ倶楽部

【安全衛生委員会】

- 委員会
4月15日
- 安全と健康管理講習会
6月21日 閑臥庵

【青年部会】

- 青年部会
4月25日

【国際貢献委員会】

- 相談対応
随時
- 訪問指導
4月、5月、6月
- 在留資格認定書交付申請
4月
- 技能実習計画認定申請
4月
- 技能実習生 交流会
4月7日
- 定期監査
4月12日

会員の変更事項

【住所変更】

- amビルサービス株式会社（正会員）
京都市山科区四ノ宮小金塚1-160
TEL：075-594-3335 FAX:075-594-3336
2024年2月1日付



LINEアカウント
お友達登録
お願いします！

最新情報はホームページ、LINE アカウント
にてお知らせいたします。



公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
法 人 Kyoto Building Maintenance Association

アビリンピック京都大会にて京都府代表が決定！

2024年2月10日(土) 京都府立京都高等技術専門学校・京都府立京都障害者高等技術専門学校

令和6年2月10日(土)第21回アビリンピック京都大会が京都府立京都高等技術専門学校・京都府立京都障害者高等技術専門学校にて行われました。アビリンピックは障害のある方が職業能力を高め技能労働者として自信と誇りをもって社会に参加できるように、またより多くの方に障害者の技能に対する理解と認識を高めていただくことで、雇用の促進を図ることを目的としています。ビルクリーニングの種目では「繊維床清掃」と「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題が実施され13名の方が参加されました。たくさんの方が観戦する中での競技とあ



って緊張もあったと思いますがそれに臆することなく、日頃の練習の成果を披露する選手達の姿が印象的で大変すばらしい大会になりました。



金賞(最優秀賞)

船越唯愛さん

京都府立京都障害者高等技術専門学校

銀賞

竹内遥仁さん

京都府立京都障害者高等技術専門学校

銅賞

杉原佑亮さん

京都市立鳴滝総合支援学校

努力賞

福本奏さん

京都市立鳴滝総合支援学校

おめでとうございます。

金賞(最優秀賞)と

なりました船越唯愛

さん(京都府立京都

障害者高等専門学校)

は11月に愛知県で

行われる第44回ア

ビリンピック全国大

会の京都府代表とな

ります。全国大会で

も持てる力を十分に

発揮して頑張ってもら

いたいです。

惜しくも入賞されな

かった方も皆さん大

変すばらしい内容で

この大会の為にし

てきた努力や経験は

自信となり今後の

活躍の場を広げてい

けるものとなったの

ではないかと思いま

す。



今回は1名の採用だったのですが、募集を出したところ1か月で15名の応募者があり内5名を現地に面接しました。このMIRAI日本語学校・送り出し機関を運営している2名エンディさんとスフードさんは滋賀県で建設業の技能実習生出身で母国に帰り2001年

外国人技能実習送出し機関視察(協定・現地面接)

2024年2月20日(火)~2月23日(金) インドネシア ジャカルタ

2月20日に伊丹空港より羽田空港経由でインドネシアのジャカルタへ11時間かけ行ってまいりました。目的は京都ビルメンテナンス協会が外国人技能実習生の監理団体として発足し4年、これまでベトナム1国からの技能実習生の受け入れでしたが、新たな送り出し先を開拓するためインドネシアに行きたくてまいりました。インドネシアは現在世界第4位の2億7千万強の人口を誇り発展し続けています。ジャカルタは人口一千万人の首都で東京を凌ぐ人口です。ただしインフラがまだ追いつかず有名な渋滞も体験してきました。京都協会の前にお世話になっていた民間の監理団体から紹介を受けバンドン(ジャカルタの隣の街)のMIRAI日本語学校(送り出し機関)を視察をする予定でしたが、インドネシア特有の交通ルールや渋滞からジャカルタに応募者を連れてきてもらいホテルで技能実習生制度の協定を結び、そのまま弊社の面接をさせていただきました。



日本語学校を設立、2009年送り出し機関に登録し、現在在校生は男子110人、女子50人女性は工場、製造、ベッドメイク、ビルメンに就職することが多いとのことでした。内30人が採用をもらい出国準備中で、これまでに500人の送り出し実績があり地域では老舗にあたる規模とのことでした。



学校の先生が通訳で3人来てもらったのですが、面接での細かなサポートや技能実習生に対しても

対応の良さを大変感じました。また、営業部として来ていただいた川崎女史は父親がインドネシア人の技能実習卒業生で日本人の母親と結婚し生まれ日本で中学まで育ち高校からインドネシアで暮らし送り出し機関で働いている、日本に永住権を持つハーフとのことでした。日本人ハーフということもあり、こちらの日本人の持つ細かな感覚やニュアンスも面接で通訳の補足として伝えてくれるところはありがたく思いました。互いの文化を理解できるところは誤解なく話がスムーズに通じることになり採用の場面では特に心強いと感じました。

面接の感想は、これまでベトナムでは日本語の質問を通訳してもらいベトナム語で回答した日本語に翻訳してもらって理解し選考していましたが、今回の応募者は



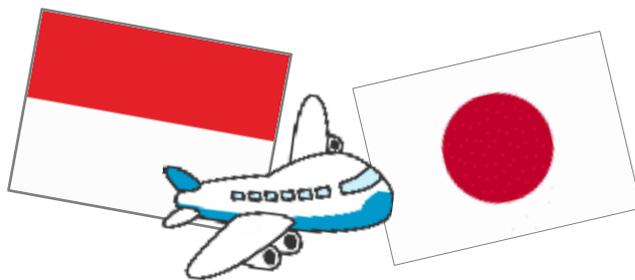
は、翻訳を通さず答えることができるレベルであり理解力に大変驚きました。

(もちろん個人差はあるがこれまでの経験で実習生が日本に来て2年経ったくらいの会話力)

応募の理由としては皆全員といってよいほど、家族の生活が苦しく自分が助きたいが一番の理由で、二番目の理由としては、新しい経験をして母国で事業をした

とのことでした。川崎女史によると愛国心が非常に高く親孝行とのことでした。

私がこれまでの技能実習生受入れの経験から今回の応募者の語学力の驚きを伝え、もともとインドネシア人の語学力が高いのか、MIRAI日本語学校が優れた



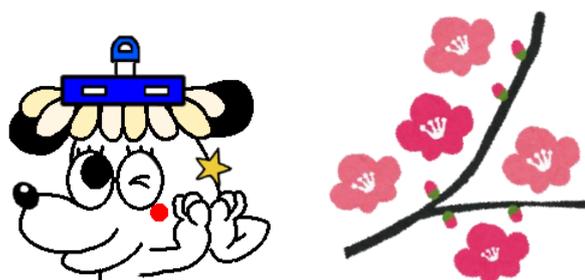
教育を行っているのかと聞いてみました。リャン主任は、今回の応募者は初めて日本語を習ってわずか5か月で面接の日時が決まって徹底的に「会話」の訓練を特別にするとのこと、私は日本人より英語が話せるくらいの元々の語学力の高さと学校の後押しの両方だと感じました。これまでおよそ入国までに6か月以上かかりますが、日本語能力が高いので3か月で十分と感じました。

イスラム文化について知ったこととしてラマダン(断食期間)があり、2024年は3/10~4/10(年によって変わる)1か月飲まず食わずらしいが、よく聞いてみると、日が落ちた時間に飲食しているとのこと幼少のころから慣れているのでごとも支障がないとのことでした。また、礼拝が5回あり、メッカの方角を向いて。早朝5時に1回目のはじまるので早起きは全く問題ないと安心し事業所の詰所や休憩室で礼拝を認めて配慮してあげたいと思いました。(時間は多少前後してもよい)

お酒と豚肉が飲食できないので一緒に食事するときは配慮が必要。またヒジャブ(頭にかぶる頭巾)を得意先で認めてもらう配慮も必要と思います。もちろん信仰程度は個人差があり、お酒を飲むひと、礼拝をしない人、ヒジャブをかぶっていないインドネシア人もいます。このあたりは面接にあたりしっかり聞いてお互い歩み寄ることが大切と感じました。今回引率と協定を結んでいただいたMIRAI日本語学校のスタッフは全員飲酒をしない人達で他国との交流のあるしごとで戒律を守るので2、日常生活に規律が溶け込んでいる文化は働く上で協調性が高いと感じました。

インドネシアのインフラ整備に日本が古くから関わっており日系企業も多く、日本は人気の国とのこと。語学力の高さ、親孝行、愛国心があるという文化が若い世代にも一定以上持ち合わせる国として今後のベトナム以外での受入国としてはかなり良い印象を持ち帰ってきました。

国際貢献委員会 山下 耕平



アビリンピック京都大会 ビルクリーニング競技練習会 開催

2024年1月17日(水) 9:30~16:30 京都ビルメンテナンス協会 講習会場

2月10日(土)に開催される第21回アビリンピック京都大会まで3週間とせまる中、出場者の12名が、午前と午後に分かれ、京都ビルメンテナンス協会講習会場にて開催された練習会に参加されました。

毎年冬開催ということもあり感染症予防対策として、安心して選手が本番に臨めるよう、学校ごとに時間を分けて練習会を行っています。練習会では、選手に合わせて現状の課題や大会までの改善ポイントを山崎公益事業委員長をはじめ講師の皆さんでマンツーマンにて確認をいただきました。学校の先生方も選手が課題を振り返りレベルアップするために動画で撮影し、時間を計って熱心に共に学んでおられました。

この京都大会で金賞を受賞した選手は、今年の11月22日(金)から24日(日)愛知県国際展示場にて開催されます「第44回全国アビリンピック」に京都府代表として出場することになります。



京都府代表の決定は、4月上旬に、選手の皆さんに大会主催団体よりお知らせされる予定です。結果が発表されれば、当協会のホームページでもお知らせ致します。

今後もアビリンピック京都大会をビルクリーニングの種目をとおして技術の向上と、業界の発展のため京都ビルメンテナンス協会として尽力して参りたいと思います。担当されました公益事業委員会の皆様大変お疲れ様でした。引き続き全国大会に向けて指導、バックアップをお願いいたします。

広報委員会 山下耕平

労働災害発生レポート

■事故の型別 (2023年12月~2024年2月)

区分	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊	激突され	挟まれ 巻き込まれ	合計
人	0	5	0	0	0	0	0	
区分	切れ こすれ	有害物質	感電	交通事故	動作の 反動等	針刺し	その他	合計
人	0	0	0	0	0	0	0	5

■年齢階級別死傷者数

区分	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	合計
人	0	0	0	1	1	0	3	5

■時間帯別発生件数

区分	~7時	~9時	~11時	~13時	~15時	~17時	17時以降	合計
人	0	3	1	0	0	1	0	5

■休業日数

区分	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	合計
人	0	0	0	2	3	0	0	5



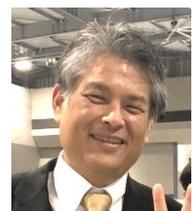
安全衛生委員会
井上 健

会員企業の皆様、いつも京都ビルメンテナンス協会運営にご協力いただきありがとうございます。みなさんはいざという時のための備えをしていますか。阪神淡路大震災、東北大震災、近いところでは能登半島地震など、日本はとにかく地震を中心として様々な自然災害の危険をはらんでいることはいうまでもありません。もちろん、企業や施設などではいざという時のための訓練をしっかりと行ったり、マニュアルをしっかりとめたりしています。しかし、これがいざプライベートとなったときにいかがでしょうか。おそらく自身が災害にあったことがあるという方でも月日とともに危機感が薄れ、いざという時の備品の準備や確認がおろそかになってしまっている方も多いのではないのでしょうか。大切な人を守るため、自分自身を守るためにより一層いざという時のための備えについて考え、行動し、また具体的な備えだけではなく心の備えもしていきましょう。

おすすめの1冊



京都ビルメンテナンス協会
公益事業委員会
理事 山崎 哲也



老眼が始まり読書をした記憶が全く無く皆さんにおすすめする1冊を、昔読んだ【この世でいちばん大事なカネの話】本を選びました。(作者 西原理恵子)

この本を選んだ理由はここ最近東証株価が最高値更新、個人投資が若年層にも浸透しつつある中、お金の有難みが色々作者の実体験を元に構成されています。

〔生まれる環境を人は選べない〕私はこのフレーズは当たり前ですが誰しもが、一度は思った事のあるフレーズだと思います。生まれた環境によって人は変わります。お金は大事ですが、何よりも大事なものは自分の周り環境です。家庭、会社、地域、学校等沢山のコミュニティの中で我々は生活しております。一度皆さんの周りの環境について考える1冊になればと思います。